畏しども畏し

聖上時局に御軫念

明を浴びて退出するよ

今曉三時始めて御寢遊さる

で迎へてある、すなはち現下 振の間ではこれを好感をもつ

でいる顔になっている。

から参内し

百武侍從長侍立の上畏念御 降下、時扇が御診急遊ばて大將に拜謁を仰付けられ ふ前側を拜すね深夜の衣夜表御座所に州御遊ばされ からとはいべ午崎一時と天皇陛下には霜凍るこの深 たのである、時局置大の

参

謀

長

格 0

今

井田

氏

一 (日 曜

## 日五十二月

## つ陸、海兩相を訪問の上 隔意なき意見を交換 閣に着手

「東京國通」後繼內閣組織の大命を 拜した宇垣大將は廿五日午前九時頃より 組閣本部として組織に着手した、宇垣親戚に當る麻布廣尾の三橋信三氏別邸を

孫が行はれるかも知れない、合に備へるだめ二、三相の蒙合に際し將來省の慶合をなす場

長官池田淯、拓務局長安井誠元警保局長松本學氏、北海道

茨制局長官、管領總監 | 今と母されてあるの緒氏はいづれる書配 | 等の種要な地位につく

さ村上校長は、つぶやくや

は、ゐるの

その中に、俊子の良人

て介田郡

すでに人の妻に、僕子は、

人はあの勝岡宏ではない

良人は、

俊子の主

宇垣內閣出現

政民兩黨は

解散忌避

をとげ、 びに組閣方針を披瀝して腹藏なき協議 大將はまづ寺内陸相と會見して陸軍 大將自身の時局に對する抱負なら 續いて永 **組織に關する要望乃至は條件等** の政局に對する見解、後繼内閣 の諒解を たのち

いよいよ関係の銓衡および交渉を開始することになった 【東京國通】政民南黨では宇 成内閣の田環をみるにおいて はらず必然南黨は一致して事 関上これに支援を興ふべきを もつて議會購載の理由はなく なり、從つて濃層であつた帰 数の姿無も一番されると同時 であがため積極的に乗り出すこと がため積極的に乗り出すこと がため積極的に乗り出すこと

板垣兩中將の呼聲が高 陸相には杉山大將、

新が有力である、法相には が同人 に林法相の留任 無員から二、三入閣者を出す とすれば中島知久平、鳩山一 とすれば中島知久平、鳩山一 が敷へられてゐる、なほ組閣貴族院方面から棒山資英氏等

【東京陶通』組閣の大命を拜した宇宙大將は廿五日朝組閣 に着手したが、宇垣内閣出現 とふもに

下馬評に上つ

ちとるとすれば佐藤尚武、小 に推されるものとみられるが、 同氏は入閣を離退すると稱し てるる、外相には外務部内か

外交の打

をもつて迎へてるる、即ち 将の刑馬に對しては大體好感 と変質は学壇大 あるほか薫内の大勢は字垣周潔には従來幹部中にも字

如きことはあ との見地より驚としてはそのとの見地より驚としてはその 【東京関通】政友會は宇垣新 時間に對する態度につき廿五 時間に對する態度につき廿五 の大體の意向を綜合を開き協

大将の出馬を希望してあた。 なしてある、たなその組閣に當り政黨に呼びかけて積 を向に協力を求めて来るが に當り政黨に呼びかけて積 をでない 大局よりみて徒のによいては時か度 をでない 大局よりみて徒のにすびかけて積 をでない 大局よりみて徒のに関り全国 をでない 大局よりみて徒のに関り全国 をでない 大局よりみて徒のに関り全国 をでない 大局よりみて徒のに関り全国 をでない 大局よりみて徒のに関り全国 との をでない 大局よりみでよめて来るか をでない であるが、何

十四日來京ヤマトホ 往

で大(東京電気) 同 で氏(東京電気) 同 で氏(東京電気) 同

**瀬野氏(浦織)同太陽** 日男氏(馬政局)同 川瀬吉氏(同 同 川瀬吉氏(同 同 あなかった。

大の政権が宇宙大将に降ら 

思った。目がさめたやうに 夜は自分の宿園だった。十八 忠夫は、

**沙痛な難をして答** みます

今後の推移を靜觀 宇垣内閣出現に期待 方策、信念認識などを聞いて あないので今後の推移を解視 するほかはないとして沈歌を 守つてある いては決だその時局打開の

報路は種々、 定は事實を物語る

結論まで待て るに今井田清

白紙、政黨は好意などく 放せられた感じは株界の安何とはなし却つて電腦から

固

定

給

か

七

歲位

r

田先生、 野白い顔を振り向

奥洋

說

目三

**製作氏 (大速民政署)** 開氏 (中級) 同

海軍側は白紙

▲中原勝己氏○編井高製組〉同 の日

すでに結婚してゐる後子ならば今さら含って、忠夫は、自分の苦痛を、この上も抉るのは、堪へられない気がした

では、また。 検長が始め、職員に、 書題を指される。 ・検長が終るさ、村上校に出出したやうに(音つた)。 では我が復復で 名前を言はずに來たのだから 後子を病院へ入れた者が。 鬼夫自身であらうさは、氣を 失つてゐた後子に。わかりや

が、むしろ好くはないのか? 忠夫はベッドの上て、自分の髪をかきむしりたいやうに ドアにノックが聞えた。

上山中

0 支 十五歲 位 迤 (3) 五六〇九番

製品カステ 庇官學 御 用 華 ラ カネ 9 びン店

せば 致支援 北人氏(蘭食業)同國領大郎氏(同)同領大郎氏(同)同行一氏(同)同 司(相島省公署農務 の一學年の組を、全年は二つ 「會議をついけます。 花田和 MILO に分けるか三つに

▲田中實氏(薬薬)同常 経旅館 本谷口楽文島氏(南)同 本谷口楽文島氏(南)同 本公口集文島氏(南)同 本公口集文島氏(南)同 本海線 経際資文氏(官吏)同 本山口定次氏(官吏)同 本川口定次氏(官吏)同 本一等本

腹域なく同い すが 関ってゐるさころで あるさころで

きれぎれにしか。願へ入つて が、検長の言つてるこさが 起きて、忠夫を眠らせなかつ

からのとし、変れてる薩を使した。 外からの光りで、うすでは宝の窓に、別いカー 何ひに行くべきだらう

一人六六番



#### から 事成れ 一宮滿鮮 御奉公で命懸け ら喜ぶ 理事長

在京名土は二宮満鮮拓殖理事 表、西側中銀理事、平井出總 務司長夫人等で、大命降下の 報を得た二宮總裁は宇垣大 静陸相時代に参謀次長として 宇垣、二宮のコンビは當時の 宇垣、二宮のコンビは當時の 宇垣、二宮のコンビは當時の 中六日往前の観者に對して左

全は大學をしたことはなく貝一度大 をしたことはなく貝一度大 をしたことはなく貝一度大 をしたときに自 分は中佐で数官を動めたこ 分は中佐で数官を動めたこ 

の如き感想を語る

た到り欣快に構 「平素の御抱負

忠夫の情ぎめてる酸へ、まご もに投げられた。

で記びた。 で記びた。

架家である、さ、さう言はれ なごでは、最も殿校なのが話 なごでは、最も殿校なのが話 忠夫は、だまつて腹をさげ

秋日った間 三年前から、残さ一日もか、今 間らずも自分の手で路に

この後、宿貞室に、忠夫は も眠らなかつた。

三十三

つら忠貴な君が

第0保管。 類の保管。 第の保管。 やうに言っ 忠夫は、なほも沈痛に悪い 高價な樂器

育議が、すでに始まってゐ ・大は、職員室へ入って來た ・大は、職員室へ入って來た

たらう

四十一

(株土地)

歌

譜

新春を御迎へ遊ばしまして御季家御一続様益々得多で完全なる設備優秀なる技術等をモットーとして努力を付る次心で御座いますから到らぬ點は何卒御力を行る次心で御座いますから到らぬ點は何卒御力を行る次心で御座いますから到らぬ點は何卒御力を行る次心で御座いますがある保管完全なる設備優秀なる技術等をモットーとして努力を開始致しまして御季家御一続様益々得多

「米の成る木」

宇垣王國の牙城を解剖

の息のかよつた政治界の一人

土であらう。

へと子を捨て

協議する處つあた

フェ入り

水と酒

監海軍少將等は除に陽に学知を近した板野雕明を致した板

でその名を全

オキヤ

マ黨に

方面では宇道型として二宮現の東方面では宇道型として二宮現

裁、土肥原中將、佐は字道型として二宮

方を瞬頭せんとする全務質屋

きのふ太子堂で實行委員會

我が

(日

噻

きに全國中等學校氷上選手

たわが新京商業氷上軍は二十

せられた第九回鴻徽中等學四日奉天國際リンクにて擧

って驕ら

しっさ

質業南滿聯合會へ

上提陳情案審議

火)

柳大會は三十一

正午から園内で豆樹きを行ふる一二月三日の節分には新京幼稚

滿洲女子選手

第八回氷上スピード第一日

**△男子五百米** 

女子選手

第一日得點

新義州)6石塚(李天)四(明大)四八砂四、5木谷(明大)四八砂四、5木谷(明大)四八砂四、5木谷(明大)四八砂四、5木谷(明大)四八砂四、5木谷(

女子第一日得點左の如して、江島八重子

全日本氷上の王者

商業選 手凱旋

國都冬期スポ

滿洲國選

全滿各地より選

出の百餘

四公園に覇を競

ある。ホッケーの三種目で

學友廳接團多數に出迎へられ

新京幼稚園の

節分豆まき

壓倒的大勝

## 總務廳長會議 けふから三日間

(=)

財政、移民、東邊道復興等 里要問題を協議

二日間の日本 第一日(廿五日) 一、午前十時開會 開資の解、大津總務 一、國務院總務廳劃示 一、國務院總務廳劃示

を横領姿を晦ました愛知渡埠頭區外図十六道梅に

なり

所詮のがれられぬところと逃避を續け善悪二心の

觀念二十五日夜期けをまつて新京署に自首したに、懊惱の旬日にすつかり精魂もつきけて生け

り精魂もつきはて生ける屍と

満洲製油株式會社

岩手縣人各位に告ぐ

族向餘興澤山計畫中に付舊つて御出席願度此段御案内申上候

御緑合せ御家族御同

京住吉町四丁目四番! 和十二年一月二十日 恤告申上候

や写 土地制度の確立に関する事項 ある事項

新京署へ自首

常會社へ昭和十二年一月十四日解散致候ニ付債權ヲ有セラル、向へ來ル昭和十二年三月二十一日迄ニ其ノ債權ヲ御申出無之時ハ清算ョリ除斥セラ出無之時ハ清算ョリ除斥セラルベク候右面法ノ規定ニイラ

味覺

滋養

クラ明申月クロ

御御御

會談食

萬圓橫領事件解決

事業計畫の概要に関す

商租権整理法に闘する

公金横領の學務股長

れたい件 れたい件

長。中央政府より呂民政部 各司長、是野鸞務廳長、神 方文長、古田司法、大橋外 方文長、古田司法、大橋外 安、依田崇政部各次長、平 介田交通、皆川文教、岸寅 案各部總務司長以下關係各 大津總務司長の開會の辭に次

等を中心として

指示事項

如き訓辭あり、終つて板垣闢次いで呂民政部大臣の別項の

東軍参謀長の致詞、

地籍整理局指示事項左の如し地籍整理局指示事項左の如し地籍整理事案趣旨の普で、地籍整理事案趣旨の普で、北非の数計をはいる。

終へて午前十一時三十分宮内 府に伺候拜謁並に賜餐を給は つたが午後二時よりは民政部 つたが午後二時よりは民政部

=

な訴へたが『霽りません』と を知り再三不心得を融し歸宅 を知り再三不心得を融し歸宅

通化に設置すること」なつた 異難案を討議したが、宮脇情 の場響事處を約一ヶ年の豫定で が、宮脇情

論方を願ひ出た

東邊道復興辨

宣詔記念日に

通化に設置

交教部の計畫

中會場時

一月二十八日(木)午後六時四十月二十八日(木)午後六時四十八日(木)午後六時四十八日(木)午後六時

天廟省公署を中心に宣揚が安維持會、協和會、吉林、

やく建國宣詔記念日をトして文教部では來る五月二日の輝

新京岩手縣人會長

(電ミニ〇九二)

(奉天)四八

ないて前田主將は驚って晴れの凱旋をした、

四日午前十一時より中級クラ 瀬に於て原案を協議、更に廿 出すことゝなり過般勝務院會

外務一世員採用で、真面目に活動の士を採用で、真面目に活動の士を採用で、真面目に活動の士を採用で

す

マト屋

電3五九八七

今朝の氣溫

零下廿四度八

住店

宅 場所富士町三丁目、駿房、水便所完備

當土町三丁月

今多の最低に降る

一館内で緊急評議會を開き代用では右により同夜深更總領事率では右により同夜深更總領事率では右により同夜深更總領事

校舎其他に關し協議を行つた

道而昨年來新京在住者を願査の上御入會を動き り間惟致し候間奮って御出席領上候 り間和新春の定期總會を棄ね懇親會・ 地名 に 上口ぐ

ね懇親會を左肥の通

も未だ調査もれの方面多々有之候事とて此際是非共御入道而昨年來新京在住者を調査の上御入會を翻誘仕り居候

男子五千米成績男子五千米成績

妻逃ぐ

た風を忘れ二十三日機井氏 『氏に敦はれ後妻として賞 境の底に鳴ぐ時藤井武=假 元氏の依頼の如く言葉巧な盗み出し夫の友人某氏を盗み出し夫の友人某氏

大窓入りに小春日和のやうな 選もその後大第に下つて二十 選もその後大第に下つて二十 度八分で本年の最低記録を示 した、然し今頃の新京として はこれが普通で零下三十度ま ではあって珍らしくないと觀 関所では語つてゐた ハイラル小學校出火

大福社開業 入船町四大福社 開業 入船町四

一、日時一、日時

一月廿七日午後五時半

東三條通賓宴樓

武部理事來京 端鐵

金多園也(常日御共多の事不足)

福信金融株式會社內

石効無連

月二十五日
日太子堂に於て相管み
日太子堂に於て相管み

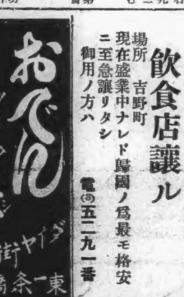
**標語(3) 二五八九番** 

期して行はれる豫定だが、衆聯合陳情運動は二月初旬 職 疾

、遺骨を迎へ廿六日午後三 別なく去る十六日午前五時死 通端鐵騰院に入院中の鷹鑵石 型高 

**各省總務廳長參與官會議第** 二日、午前十時、民政部會

合せのため二十六日午前八時理事武部治右衛門氏は事務打 樂の女將逝く



合京合京 級內 表科代購 縣會



電話(2)110五日番

すて群人麗

サービスガール 集 年齢十六、七歳以上の方数名 年齢十六、七歳以上の方数名 集

料理八品、酒三本三圓五十錢 花本特別奉仕 是非御利用願ひます に感じのよい當店を

美味



マ二十五日よりの番

銀座キネマ

本りも同じ船に乗つてるる。男も同じ船に乗つてこれら三人の他にマーコといふ殺人犯とこれを更に怪しいが関係の探偵(この中に駒井哲のの探偵(この中に駒井哲のの探偵のであるが、この間に採りあげてある。とが興物のマーコである。とが興物のマーコである。とが判るのであるが、ストとが判るのであるが、ストとが判るのであるが、ストとが判るのであるが、ストとが判るのであるが、ストとが判るのであるが、ストとが判るのであるが、ストとが判るのであるが、ストとが判るのであるが、ストとが関している。

◇評◇書◇映◇剥◇

酒場ミ喫茶

#### 三十一日 一十五日

一日は決算棚卸しのため

鹤松金山酒

(月曜)は定休日を

兼ね賣出し準

安

御値打品を各賣場に特設の特賣場に山積いたあらゆる百貨を特にこの機會にとつておきの禮奉仕として吳服、雑貨、洋服、御家庭用品等本月末は「總決算棚卸勘定」につき皆樣への御 八日(曜) 0 三日間

(正金銀戸構)



込れたし

教授科目商業、

體簿記、珠算、日語

新京高等簿記學校

江戸ツ子藝技の御もて居心地の好い

なしどうぞ御贔負に

四卒業生を昨年末官職、**會**社 募

(就職の最經捷)

- 人員に限定あり至急申

3

前島留停スパ電漏通橋本日 店計時堂正大

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

新京自動車學院

電絨子

区街

優

秀な技

術

術寫

填

シー五十萬圓會社の設立計畫等の爲至る所技術の合同豆タクの出現バス會社の人員補充更にタ迎り殊に當新京は官廳方面の滑車、タクシー薬型の殊に當新京は官廳方面の滑車、タクシー薬型の大漁洲帝國の自動車界は躍進に促進の一路

生徒募集 新學期二月一日

設備內容滿洲第一 自動車技術員養成機關

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

出賣式株マネキ都帝號

サービスのい
新年の御宴會は
一經濟本位の弊店へ

ビスの

東三條通四二 日本橋通七五 習野町一丁目二三 日本機通四九 町三丁目一七 證券團 員園

新京現物

1 1111 申申賣壹賣 込造株出賣 付數價金 期單 金株

要株に付金二十重也

\*\*都 代牛 田

に成て、 に対して、 に鑑み新興映書と言うない。 とし開館なしたるものにして営時があるに昭和拾年拾月八日火 を示したり然るに昭和拾年拾月八日火 を示したり期館を爲し爾來好調にで今 を示したりがるに昭和拾年拾月八日火 とし昭和十一年十一月一日株式會社 とのにして之が經營業は大衆の娛樂と で今 を希ふ

西寫道

和洋樂器修理迅速

電話(の) 二器◎店 辛らザイス フォルム たご ZEIZZ ZEIZZ Photo 朝の光を 村村 自 き **房**真機直輸の一

が判然とするのは今秋と目の地資本も参加することと

府の方針に基を全省内にわた | 省内各省の移民可能地全般に | 貿易送りに人氣腸く週初十八間鼻省公器においては低報報 | り一萬二千三百三十戸の移民 | 混保大豆 先物 欧州内地共間鼻省公器においては低報報 | り一萬二千三百三十戸の移民 | 混保大豆 先物 欧州内地共 | 上週 取引 | 週 報

黒河省に於ける

と合せて三工場が實現の軌道と合せて三工場が實現施に於ける工場於いても計量されて居り、新於いても計量されて居り、新

鮮滿拓殖、間島省に

三千戶入植豫定

安圖縣に集團部落を建設

福州進出計畫 イタシヤー法がソリン合成技術を買取した三井帳山では三 他三菱、住友等の資本参加を もに北海炭礦、三井物産その もに北海炭礦、三井物産その

一つたが、この程その計量案が 一つたが、この程その計量案が 完成された 全質論計量 第一次移民、権はつぎの三 第一次移民、安陽縣新設集 團部落および既設集團部 落入板 第二次移民、省內各縣(安

二〇銭 安値二〇園九〇 三等品 三車 高値二一個 三〇銭 安値二〇園六二 銭

○銭 安値二○瞳九○

間島省公署の

第二大移民 省内各縣(安 調縣を除く) 医設集團部 落補充入植 地の比較的纏まりたる地 方における新設集團部 落補充入植

移民計畫完成

新京取引所

(一月三五日前場)

機來りなば

海外經濟電報

三種に分けて入植を質施

### 産業鐵道を計畫 主要産業地に

完査を年計量遂行に伴ふ産業 を開らんとするものである。 道機局では適別関政府の産 の産業開設と輸道の經済線化 建設資金は一億六千萬圓程度

平均一銭に近いのに極化江水 電計畫は二厘と言はれ最も高 い火力發電で五厘といふ内地 い火力發電で五厘といふ内地 地料の問題で

興銀信用の縮小で

在哈邦商困る

別個の金融機關設立要望

に対すすます。 は行うに対すます。 は行うに対する方法技化が内地で切ってるたところ、今回建一級 を対対にその後にならうが消滅そのは一段の手に移っても、大きが対しての後にならうが消滅そのは一般の理説局の手に移っても、大きに対しているなどので、情地人たる牡丹江市民大きに対している。 本料は健路局時代と同様と信品を は他令建設局の手で移っても、本 をが対している。 本料は健路局時代と同様と信品を 本料は健路局時代と同様と信品を 本料は健路局時代と同様と信品を 本料は健路局時代と同様と信品を 本料は健路局時代と同様と信品を 本 市民大會開催 で除き從來の小信用取引者は で除き從來の小信用取引者は 銀成立により日本人に對する最近態よ魚迫しつ」ある際興 大であららと観測され一般日た土建築者の蒙る打撃は相當 哈爾濱日本人商工業者に對す補酬典業銀行の開業により在

朝鮮窒素液化工場

國境に新計畫

既成計畫を合せて三工場

拍車をかけるべく何等か別個

現九〇磅 安値二一<u>1</u> 安値二一 一等品 三九車 高億二一 一等品 三九車 高億二一 一等品 三九車 高億二一

生活様式とのギャップ ▲以上 信式支那船は戈行してゐる▲ 信式支那船は戈行してゐる▲ 物、従つて外國大

各地株式市況

爾之助行狀記 12.00 8.374 7.1 階

海岸三二分元 九弗一大分七 

155

高值一四個八〇

中代古小婆 一般古小婆 一般二人仙八分一 一部二人仙八分一 一部上八仙八分一 二三雷比三分一 上三雷比三分一 市況

新京取引所市况

新京丰才

2 5 日 よ 9 3 日間 賀 見 山 松浦塞枝主族

中野英治

鍔鳴り兄弟鑑 1.52 6-20 旋風街第二編 2.48 7.16 8.81 7.59 4.28

1.30 6,50

1,45 6 40

2,00 6,55

12,10 1,55 9,50

0 座

姫君海を渡る 2.40 6.38 高橋是清 第 12•00 3•58 7•56 春は牛に乗って12.00 8.49 7.44 4-19 5-04 12-20

豊楽劇場

人引 債株式現 **考式** 資本 次店 製

要友為書 ·志二片八分五 日旬爲書 七七留比二分一 日旬爲書 七七留比二分一 一二仙九七 二二仙九七

**未少没方去如此内线在大会士的大大大大** 

日鹽新九石日大日日共錄 本水潤州川清飯本電漁 會 整理工水。為製軌率工業紡 整體大力船份通輔資套 新耕新為所所新新新新新 最 拂 月月同 侗同侗同 御用命 拘らず

\*\*\*

主旗

南デ同大湍湍同東大湍湍東同日日同日日湍日湍東同大同日同湍電川浦同大同日同朝同東金同南同哈奉同大大新商同新同朝同湍三雄甲 満イ 連洲洲 亞和洲洲湍 本本 湍湍洲本洲京 同 本 洲業崎賀 阪 本四鮮 京福 満 薄天 連連京工 京 鮮四洲分四五 瓦ゼ 機工煙 煙染化ルル 産ル ル亜麻積績電 電 電 電公造船 商 郵 鐵 下鐵 鐵 交端 豆五取銀 銀 銀分國半分分

大一二七三一六八一四一一三八五二六三一四二五一四一五三三六四七二七三八一五三三一四六二五一二六一一 一三二八九〇九〇〇 七九四〇五六九七六九六八三一〇九七一六六四六八四三——五〇一一八〇二〇〇一〇五一八〇六二三一九六二六一八一一九〇八〇〇 









であるが、なは建設局では土の成分をなすべしといふのである、鍵耳に水の市民が愕然としたのでとして反對運動を意起したの

決定工事 ◆総州省公署新楽媛房御生給 ・総州省公署新楽媛房御生給 ・総州省公署新楽媛房御生給 ・はごは1く「000 頂田 商官 ・はごは1く「000 頂田 商官 ・はごは1く「000 東島 平大 ・はごないので、1000 東島 平大 ・はいないので、1000 東島 ・・はいないので、1000 土建ニュース

相

場

〈□□・「元、00 坂 本 組 〈□□・ 豆0 00 飯田 水道 〈□・ 豆0 00 飯田 水道 白城子交換所電線装置工事 日城子交換所電線装置工事 日城子機務設口コモテープ 一海為

新京丰李

各地特產市況

映画御案内

能

込

畑

週

報

現物

日より之を施行す

## 駆よ組閣の第

吉川商會 板梯甲板

石塚英藏氏

大將生

海兩相訪問

來考慮する旨

石塚英級氏は午前十時州分陸 相官邸に赴き寺内陸相と會見 相官邸に赴き寺内陸相と會見 一門た

杉山教育總監 陸相訪問

宇垣大將本部乘込み

一着手

難航覺悟、飽迄希望捨てず

庶政革新の决意表明

軍部內情勢 を御報告

らの關係上挨拶を述べ 大將を訪問したのは從 大將を訪問したのは從 大將を訪問したのは從 大將を訪問したのは從

国難ではないかと思ふ、政 本するとか報道されてゐる が誠に困つたもので今次政 が誠に困つたもので今次政 が誠に困つたもので今次政 が故に困つたもので今次政

組閣は相當困難

石塚樞密顧問官語る

開院總長宮に

勢其他につき御報告申上げた に伺候し参謀總長宮殿下に調 日午前十時四十五分開院宮邸 に同候し参謀總長宮殿下に調

【東京國通】杉山教育總監は 中五日午後二時十分陸相官邸 に寺内陸相を訪問、その後の 部内情勢を聴取協議を遂げる ところあつた

「東京國通」宇垣大將との會 【東京國通】陸相官邸を輸去る、もう一度會ふかどうか くお話申上げた次第でありは解らない ます は部内の情勢に関して詳しない。

河省を日人移民地古林省より

の答辮があつた。 で、養倉の整備擴充に関し率 との要認に對し、大津總務 可長より解來充分考慮する 可受より解來充分考慮する

製して六時中司令官々邸の知 定刻を過ぎるも意見機出し延 にして意見極めて豊富にして

岡田科長東京へ

曾議全體の空氣は極めて恬毅

分新京設東京に出張する 日本側各機関との連絡の要務 を書び二十六日午後四時四十 を書び二十六日午後四時四十 ▲吉村富之助氏(官吏)廿五 事往來

以財界深憂

▲佐藤好衛氏(貿易商)同 ▲高津宏氏(會計員)同 ▲青沼民蔵氏(同)同 ▲中澤周伯氏(同)同 ▲中澤周伯氏(同)同 ▲東瀬興一氏(戲順女子師第 學校長)同 △三宅秀也氏(官吏)同

▲村上退彦氏(土木葉)廿五 日牡丹江から 日牡丹江から ▲松崎賞氏(同)同 ▲松崎賞氏(同)同

中に成分が 種々の操作

ます、よって本日はこれにます、よって軟會とし、新内閣成立まで休會したいと思ひます

常態復歸の要望昂る

状態績へ

天然品であるため

徒らに大量を用ふる 粒)で標準用量がイタミンA一両四〇〇両際原体に到そのヴィタミンAの力復は大人一日四粒(小児二 方法とによって機衝に検定されてあります。

リバは微量の服用で足り、且つ、胃腸に腱つたり あの嫌悪すべき不快な悪寒がなく 教通から数ケ月に亘り、永く飼か 油療法は右

何人も喜んで特徴連用することが田來ます。 よりも。肝

れを従來のハリバに添加し効力を一層増えしたので、力價を正確に測定して、これを登官な天然給源であることを發見し 本界近海産の或る魚族の肝油がVDの極い、 この度、 この度、 なが社は 『肝油はハリバの時代』を現出いたしまし 強することになりました。ハリバはこれ までの握さい、量の多い肝油に代つて たが今亦との新しい紫外線Dの給源を得

# 終知した上、大命を拜した聖子: 1940年のお前の何にある方針で、同大將は軍部側との折順については粘りをしてあるものでなくその革新も希望してあるなど時代のしてあるものでなくその革新も希望してあるなど時代ので、時局股拾の大命を拜した聖子: 1940年の 1950年の 1950年 195

人的交渉も絕望

流說外に一路邁進の軍部

「東京國通」財界方面では宇 く限りにおいては軍部の諸條 は 「東京國通」財界方面では宇 く限りにおいては軍部の諸條 は 「東京國通」財界方面では宇 く限りにおいては軍部の諸條 は

が極めて多い が極めて多い

衆議院休會決定 開十六分散會した

右翼團

一齊に

開催、富田職長より廣田内閣日午後一時九分より本會議を

【東京國通】衆議院では廿五

命拜受に至るまでの經過を總際職および宇垣一成氏の 告新内閣成立まで休會する旨

**今井田氏** 

▲木村米造氏(牧師)大連へ ▲風間森吾氏(會社員)奉天 中井雅人氏(東拓)牡丹江

古織類が急に高端によると内地ではによると内地では

全員異議なく可決、

反對運動を開始

不當圓賣防止のため

財政部令公布

海外指圖による支拂を制限

本國よりの指職に依るものは 場合のほか自行の他の店舗に 對する支持についても適用さ れる、なほ本令に依る許可申 精の手機は賃誉管理法に闘す る施行手機第五條に依つて賃 すを要し、この申請の取扱は 財政部のほか率天、哈羅濱、 安東、管口の各地の税闘内に 駐在する理財司に於いてこれ

海軍省辭令

国生 魔一火),

の宇垣大將絕對反對の態度はした宇垣大將は廿五日朝來四日の宇想を練つたが、陸軍での宇想を練つたが、陸軍の宇垣大將は廿五日朝來四日の宇垣大將は廿五日朝來四日の宇垣大將は廿五日朝來四日の宇垣大將絕對反對の態 **及宇垣熱益々硬化** は何等継展をみざる機嫌に行はれてをり、十二張に行はれてをり、十二張に行はれてをり、十二級に行はれてをり、十二級に行はれてをり、十二級に行はれてをり、十二級に対している。

計を堅持する限り字垣大勝の は配は流隆のほかなきに至る べくこゝに重大離闢に添着する を図表する限り字垣大勝の

を阻止し組閣を妨げるとなすが如きは全て當らぬことゝ軍部ではみてをり、あくまでもこの態度で一路逃離であるとみられる結果何人も個人的立場において陸相を受諾せぬと信ぜられるに過ぎないのだから軍をの例と同樣金く個人的見解に基くものであり、今回の場合は宇垣大騎の下に於ては部内統制ならびに時局とゝ、清浦内閣組閣に當り八・八艦隊計畫で加藤友三郎中將が入閣を拒否し、爾後何人も海相を受諾しなるが、宇垣内閣に陸相が出ないといふことは二個師團問題で上京した陸相が鄰任したのち何人も受諾しな通〕宇垣内閣に對する陸軍の態度をもつて大機を阻止し國體明徴に反するものであるとの股が旺んに流布通 に、右震陣營はこムに一所に 時局国教會では廿五日午後三 時局国教會では廿五日午後三 陸軍出身の宇垣氏が軍の現 院を省みず都開しま

【東京國通】字垣大將の組閣 に對し右震日本主義各團體で は軍部側の反對と並行し廿五

に手変することに一決勝物告の要望を決議し

大會召集の指令を發し、それ今朝全國四十五地區に一齊の に緊急總務會を開き反對態度へ打電することになり、同時代を決議してこれを組閣本部でれた。 貴族院休會

日下楼総内陸組織中と承り廿三日廣田内閣が總辭職し

會見 鶴見、 林雨氏と

機見両輔代議士、林朝鮮總督開本部に入り、折栖來訪中の開本部に入り、折栖來訪中の 府財務局長等と會見した

後に彷彿たる好況を呈し一日二圓乃至三圓と世界

、陸軍側の返事は 一十六日中にあらう。 今井田清徳氏記者團と會見 るる▼従つて一般物價も漸離 をで豪奢な(?)生活が出來 とで豪奢な(?)生活が出來 をで豪奢な(?)生活が出來

はの外國為替取租又は外 を得たる者に非ざればは 変の件一第四條に基金 通知す

期し、施政の重略を明示する 本天、黒河三省ならびに新京特別市、哈爾領特別市、 京特別市、哈爾領特別市、 京特別市、哈爾領特別市、 京特別市、哈爾領特別市、 京特別市、哈爾領特別市、 大津總 で、黒河三省ならびに新 で、大津總 で、大津總 で、大津總 で、大津總 かと云へば毎日家賃

大將は陸軍大臣に軍都大臣 がと思されます、軍部大臣 がと思されます、軍部大臣 がと思されます、軍部大臣 ではも早速他の関係の経病 ではない に取りかるるがも知れませ に取りかるるがも知れませ に取りかるるがも知れませ に取りかるがも知れませ に取りかるるがも知れませ

務廳長會議(第一日)

指示事項を了し次に



て國民保健の向上に貢献す

肝油を油塊のまゝ糖衣化したものです。 を固形物で粉飾した製品でなく大洋の深 を固形物で粉飾した製品でなく大洋の深 倒な操作をして、この微量に含まれた成 ます。しかしハリバは普通の肝油から面まれておるヴィクミンAとDとに依存し を訴する では日本 では日本 では日本

を のである を のである のである

聯反革命陰謀事件

後繼内閣には拘らず

重要法案は斷行

人藏省當局の觀測

表示認通」内閣総帯職の結果十二年度強事ならびに税制 型案、電力國家管理案等が 如何に取扱はれるかは注目されてゐるが、大蔵省としては 後継内閣租閣後解敵が行れる は必至として大陸左の如き観

第の不成立となる。 は、十二年度 を表示すると、 を表示すると、 を表示すると、 を表示すると、 を表示すると、 を表示する。 を表示す。 を表示す。

**らといふのであるから、これつかみ得るか否かを疑つて居** 

說

法撤廢に備

萬全を期上

と本め長遂凤

(一月三五日)後場

は、建國以來われるところです。 を事の重極を調整するとして來たところです。 を事の重極を調整するとして、 を作典し自力更生の制度所に於て を作典し自力更生の制度所に於て を作典し自力更生の制度所に於て を作典し自力更生の制度所に於て を作典し自力更生の場合ところです。 を作典し自力更生の制度所に於て を作典し自力更生の場合ところです。 を作典したがないる。 を作典したがないる。 を作典したがないる。 を作典した。 を作典した。 を作典した。 を作典した。 を作典した。 を作典した。 を作典した。 を作典の。 を表し、 を表した。 を表した。

2基くものにない。 当時の時期をおいて、 省地方要にの時期をおいて、 省地方要になる。 

ひ居つ代從致りて金來

まるとで無に安なけれ新久輝度、鬼の谷の七橋用了酢ま用る すでが積満安逸處のにらに脚を各れ點じ機の的と、とすにり あ朝極をんをで最相し民致も位てにま會才の現即をる付ま

即享會は二次会にはまの

産婆中野

电診 妊婦預

題品四五四三九番

新京取引市況 第一個數 二九弗一六分三 第一個數 二九弗一六分三 第一個數 二九弗一六分三

第一加加斯拉斯

包装はブリキ容器に依て阿 たても配達は迅 一日も早され 一日も早され加工 一日も早され加工 に限る ニャッ 亞 十天 各號揃で居ます とす場機 七缸 專門 53 0 折柄御需要のこ 事多 . し完全優美 (3) 六五二二 三三六四 六六〇七 二五二六

康泰裕加松 ンキャー・ニ 事業的報告

話 現金取立賈 (3)六一人五十七六十二人五十十二人

部下は**支注御の**崇石 ひ順御に店賣服定指 すまし登

定 新仁大泰 和昌利 曹 行行局號 店

を即時御支排ります右代へ を即時御支排ります右代へ

は石炭と引換は地の御注文に 換總御對

にで座し 支車ま御拂夫し送 ひのてり

さ任理ま

るに上し

様な大を 御つ髪石 顔で困羨 間として出来得れば各局とも 大量東京もローカル放送の時間は 大量東京もローカル放送の時間は

新洲に於て起りし明日の話題 地いである譯であります。 社いである譯であります。 社いである譯であります。

テナ子

宝力を ととし目下の處はこのまゝ進 が出來ました折に考慮するこ ととし目下の處はこのまゝ進

造儒なきを最も有力に證明するもので を最も有力に證明する件である、私は省長各位がこの監 しておい、第一は治外法職協設に を期し難いの可能のの事業に御盡力あら しておいても盟邦の英語に御書して己まぬ を期し難いのである、この事業は しておいても盟邦の英語に関連して己まぬ を期し難いのであるから、各 であるから、造神 を期とを特に関望して己まぬ がであるから、各 の事業は ともの事業は ともの。 としの。 ともの。 としの。 ともの。 ともの。

于軍政部大臣

山氏酸起の下に高志潔、茹壬(龍井國通)龍井商會長韓裔

現地秀

救貧美學

張外交部大臣

満洲三先人の銅像を

では二十四日午では二十四日午 では二十四日午 一回定期總會な では二十四日午

國防青年

**大連に建設す** 

承德小學

満鐡社員會の發起で

校落成式を舉行した ・ 教工したので、 ・ 教でしたので、 ・ 教でしたので、 ・ 教でしたので、 ・ 教でしたので、 ・ 教でもので、 ・ ので、 ので、 ・ ので、 ・ ので、 ので、

部大臣の訓解は左の如くである第二回民政部管下十省長會議に於ける各

第二回全滿省長會議

なすも國家各機關の援助を 必要とするにつき諸官の指 ※長に安住の地を與へて良 差兵に安住の地を與へて良 を保に安住の地を與へて良 を保に安住の地を與へて良 で、將來本事業を擴充し各 軍管區および興安各警備母 に屯墾餘を作ることになつ で、將來本事業を擴充し各

うち経費者を救 合せた結果合計 されで栗五十石 と右が鮮人七十

各大臣訓辭要旨

(上)

楔子の役割を自覺 間島省長金井章次氏

鮮滿

が半島よりの移住者で 大関は半島人であります、古 水瀬鮮難居の地でありまして 大田の大部分を占むる半島人 類、満鮮雨全の根本觀念は はないて相互不可分馴係に立 であり、海鮮 を隔て互に耕しまた日常生活

は富し、大小事業家の別に注目であるのであります。しかがら本省においては機能に至いた最重監を置いてるます。さらに富省は一昨年より大豆共のと常養なる別とながら本省においては農業に最重監を置いてるます。さ 天の時を得て

民族の協和へ邁進

は省 の最も欣快とするところであ 上日満軍警および官吏の不休 の最も欣快とするところであ 上日満軍警および官吏の不休 の最も欣快とするところであ 上日満軍警および官吏の不休 の最も欣快とするところであ 上日満軍警および官吏の不休 の最も欣快とするところであ 上日満軍警および官吏の不休 3 わが 来既に五ヶ年の 水既に五ヶ年の

村指導と最も緊密なる關係に あることは識者の容易に認め られてるること、存じます、 もれてあること、存じます、 政行したこと、今中正に第二 即基本工作を開拓しつ、ある 別表本工作に関しては惟名 のであります、すなはち本省 のであります。すなはち本省

錦州省長徐紹卿氏談 産物においては従来補洲生産品中の最劣等品と認められてるたものが、一難その成果を要げ改良大豆の如きは間島大豆として内地の特隆市場に特をした地域路網五ヶ年計畫、移 

施政方針を聽

(三)



おいる

三篇場校石松利子

わいそうになつたのでわざととちせて手を、たたきました その時の弟のかほは、じつに うれしそうでした。そんな事 してゐる頃に、急に、おもし ろくなりました。

一月二日の

テテヤリマシタで

イイナアトオモヒマス

童

品

イマテュッタット

マシタ。イシデ、エマリカへ カード、ニハニウメティンカータ。イシテ、コード、ニハニウメティカラ

けふはお正月だ。

田中

た。できて上げた。とてもよた。かへつて又たこを上げた 晩百人一首をした。

うちのらづら

校三年 諫山義之

一月二日のおひるお父さんとお母さんがかつどうを、見にいらつしゃつた後で

思ひましたがもう行かれ

と、いふ音がしたので、いつと、いふ音がしたので、られしくなりま

今日にそ、いま」でけいこした、うでまへを、見せる日では、私です。私はしばらんた、うでまへを、見せる日でもがら書きました。二ばん目は、私です。私はしばらくとうをして、心を、お

半なのでゆくか

被宣军 森安久子

朝暗い中におこされてねむかつた。顔を洗つて発をおこした。弟はねむさうに目をこすりながら超た。そしてふくをさかへさしてみんなで年をとつた。僕は十一だ。すんでお父さんはやくしよに行かれたお父さんのやくしよははじまやなのでゆくりしてゐた。す

行って見ますと、

尊一一 ムシアケセウゴ

始めはけ

いとの紙に書きまし

ちつかせました。それから書き始めました。

どして一回かつた。 すんでそといつ たので した。 三回ほ

一三回は

大きだ。えさはあはで毎日やつて居る。えさをやるとよろとんで砂といつしよに足で、かくお母さんがきれいにおそうじなさつた所がまたきたなくなる。僕がちづらのかかりで毎日えさをやつて居るがえるのかつこうは實にかはいちを出すと高しい。お母さんは、あみ物をして居る家の中がしんと、あみ物をして居る家の中がしんと、ある物をして居る家の中がしんと、これでは、あみ物をして居る家の中がしんと、ある物をして居る。

んみかんとりを

相撲の四十八手は崩じ が出来る。反り(頭で )捻り、(手で)投げへ かり各十二手ある。力 なり各十二手ある。力

格が出來給料を始めて貰ふ。

のはどうした譯でせう。 植物の生気は乾燥し冷くなるのでの空気は乾燥し冷くなるのでのはどうした譯でせる。 もの方

きもの、大番附の序の口とし

序の口 前場所の新序

木が少く、暖かい地方に多いか、一體に寒い地方では高い

中前相撲 前相撲

数へて序二段とい

序二段 番附上から四

高い木は少く灌木ばかりとな

ていたい念たいものです。まずたいたりの疾病や見常はないかがないないないです。

とうかい

般育をして ゐる

の子供の平均は男兒の方は身づ身體の體育としては議六歳

國技

相撲の常識

この寒い冬を皆さんはストー やや火鉢にあたつて暖くなつ なる 植物は雪が降つても風が吹いても火にあたることも出 吹いても火にあたることも出して植物は

力士の階級を行司

いで本中、新序に入る、

冬を……題す…面のでせら

健康な子供でなくてはどうしてしてその様な學校教育は、

ては身心ともに大きな革命的變化でデ

CETTO

今まで家庭に兩親の愛撫のもとに生活してゐた子供が、 病氣治療は今のうちに!

ことのない智能を活動させると云ふことは、子供にとつを誉み、同時に一定の時間教室で、今まで余り働かしたはじめて學校と云ふ計會に入り、大勢の友達と集團生活 この際一時入學をのばすといことも考へる必要があります。次に精神的の發育も同様 3 醫者と相談の上

は、 とにかく學校へ行って授業 はれたりする事もあります で、一見低館見ではないかと はないかと 子供の注意力を

吸喉などの病気は、いづれも 関喉などの病気は、いづれも 関喉などの病気は、いづれも 関喉などの病気は、いづれも

プなどの時は是非やつて ごらんなさい、便利なものです 利ですねり、水の凍らぬ裸によくり、水の凍らぬ裸によく物ではり合せ四角を紐でつるします中に水を入れて火の上にかけてごらんなさい、お湯がわきたつなさい、お湯がわきたつれは外側の繋が、内側の水に吸ひとられるからです、選足、山登、キャンプなどの時は是非やつて

植物はごう

冬を越すのでせう?

熱帶地方では冬芽はつけ

ない

を受ける土台になるものは身を受ける土台になるものは身にてもとになつてからでは何としてもとになつてからでは何としてもとになってからでは何としてもとになってからでは何としてもとになってから、入學館の今、くれんくも主意深く 観察して、それ くての方法をとつて頂きた くての方法をとつて頂きた

十兩格、

下は隔日に取り組む。十兩格下を幕下といふ。本場所中幕 は次いで幕内に入るから関取

お湯が湧く

.....遠足に便

紙の箱で

小結 本場所の終りに三 といぶ。

1二段目 番附の上から を着用しまた髪は大銀杏に結 ふことを許される。幕下に入

幕下の二番附

と思ひます

大||闘||腕 これに越するのな 大関の脇の窟であ

行司 が、式守伊之助、

てお造になつてもよし、裏

ミシンをか

野◇三行 一回金型十銭 一回金型十銭 一回金型十銭

九州堂療院

日日案内

あれる

中の一色をとつ

電子に関合せ(3)川田〇七

| 引起 | 一三大二番 | 一五大二番 | 一五大二

金融

五創

安い

★ (二) 一点大二 大田 (二) 一点大二

ます。細長い形のスカーフンをかけて三角に折つてか

が多い爲めに常終樹け多芽を平均温度ですが、多期に雨量 りです。こ

死した薬で間接に保護されて ある場合が多く、ユリの裸に 所並のみを残して越多するも のや、イモの裸に塊根を以て オホバコの様に晩秋枯 個々難多ですが、タン この他草本植物の越

い線なものでもこうして泥中をつけるのかどうかも別らなをつけるのかどうかも別らな 鬼こなり水底、泥中に沈下しに先端の葉が晩秋に集つて一 を せての 課 科病柳花·般一科外 鴉應新成院入·科病門胚

民德

人船町三丁目

ER

に多を過すのです。 なさつてもよろしいでせる。ない裏をつけて裏表使な様に

サラリージャー

**簡易宿泊所** 

ラヂオ(なる)

本本版印刷に彫画名を加り 本本版印刷に彫画名を加り 本日本最初のマッチ工場横 漢に開設。(明治八年) 本朝鮮の碧蹄館に明の大軍 を破る。(文線二年) 本北海道廳開設さる。(明 治十九年) 本北海道廳開設さる。(明 治十九年) 本北海道廳開設さる。(明 治十九年)

支那風の鴨のお粥(鴨粥) 支那風の鴨のお粥(鴨粥)

新通り式五(金光数額的)

● 金融・

貸事務室

さいま

中草のみになつてしまらので 熱帯……地方…面 に移植すっ。こうしてゐると小さな木 世本……地方…面 に移植するのもあります、サワラ砂漠 ります。これは秋から多にから の様に一年中暑くて多のない けて温度が底下し、空氣の乾 間雨も降らず乾燥した時期が おるのです。こんな地方では 物に明瞭に表はれることになる の様に一年中暑くて多のない けて温度が底下し、空氣の乾 で 花、結實を終へてしまふ様な で で 花、結實を終へてしまふ様な で で で 一般にサクラテ はご自分でお造りになつた方 と し かけ氣候に依つて種類も異つ はご自分でお造りになつた方 と し かけ気候に依つて種類も異つ はご自分でお造りになつた方 と し かけ気候に依つて種類も異つ はご自分でお造りになつた方 と し かけ気候に依つて種類も異つ はご自分でお造りになつた方 と し かけ気候になって あるものをお選びになるより な かけ気候に依つて種類も異つ はご自分でお造りになった方 と し かけ気候になって あるものをお選びになるより な かけ気候 と かけ気候 と かけ気候 と かけ気候 と かける と かりる と 自分で作りませう は

サック・サザル事品

認公

神 鮮 ビ ル

宮土町二ノ一五

性の百貨店

來ます。ドレスの残り布の々 が、個性のある面白い物が出 が、個性のある面白い物が出 趣味と合はせて自由に るのも結構です。縞はお好み を上手につぎ合せて鏡になさ 又、配合のい」二色の無地物 コミシンではぎ合せたのなど も面白いスカーフになります

本本籍顧問縣新京吉野町二丁目七目野英二氏長男幸雄さん十日出生 人十日出生 人十日出生 人十日出生 人十三日出生 ▲本籍鹿児島縣新京白菊町二 「日四ノ三川崎トショさん Ċ

帳簿專門

た他に付ても便利に れができます。

三笠町三ノ九

秋本電話店

三省堂製本所

金融即時、長期、

【材 科】(五人前) 相 物 学 別 会 別 会 別 の 会 の を 別 を 別 を 別 会 の と で お 別 を 別 と し 強 、 酒、 つ ぶ と で お 粥 を 炊 き 、 井 の 底 に 遊 の 内 を の せ ま す 。 生

MEE (®) 六八三七番 先づ問合せは同和強へ

富士町五丁目

號

下宿及貸間

無地のクレープデーの大 ール位の大きさの四角な物が 出來ると思ひます。スカーフの大きさは、編十时長さ一ヤ マ…以上はほんの一例に過 も斜でもよろしい。

京) 三・五〇 経済市況 (東京) 四・〇〇 ニュース (東京) 京) 三・二〇 経済市況 (大連・新京) マース (経語) フデオ小説 (経語) フデオ小説 (経語) まとしい勝利者 大・〇〇 子供の時間(奉天) と 大・〇〇 子供の時間(奉天)

大和運輸公司

お

ムロイマテス

農産物研袋の準備有

・ 八港船のお知ら ふ 0 番組 (新京放送局)

放送管絃團

金融專門

A A A 与 特 關 節 腸 疾炎病

東京無線

歌京百貨店一

ヘリ灸専門

単十〇三二(∞)智書

號十三

いひました。一ばんはち

私はこんどは気をつけて、他

ちよく無けました。おひがあつ

すんでかへる時川上君とたこ を旅に行つた。でもなかなか出 てとないのでかへつた。そし てとないのでかへつた。そし

んよろこんで砂であびて居

ことんどはよくできた」

といってし、始ました。」な

始ました。一時

タガシナジンノ ダイタサマンタ 。 ソウシテオカアサマンタ 。 ソウシテオカアサマシタ 。 オカアサ

一生けんめいで書きました。

とかた一ぽなかつた。そのあたりをさがしてなかつた。そのあたりをさがしてなかつたのでたりをないしてなかったので

「元氣はいゝけれどかつこ

千五 館

八・四〇 線の音樂 (大連) 九・四〇 線海市況 (東京) 九・四〇 線の音樂 (大連) 九・四四 建國管操 (大連) 八・一五 中等満州語講座(大社(大連) が理默立 (大連) 五書の演唱を表示

トモニジカル

西市児 (大連。新 五五 カレントトピックス 五五 カレントトピックス 一部 国司令部附 新年歌御會給御模根 三ユース (東京) ニ

・九段軍人會館より中橋ーオリムビック時代 オリムビック時代 オリムビック時代 オリムビック時代 第一年 一番島セ デント 一条 一面)黒岩泥香。 第一面)黒岩泥香。 第一面)黒岩泥香。 第一面)黒岩泥香。 第一面)黒岩泥香。 第一面)黒岩泥香。 第一面)黒岩泥香。 第一面) 東川 辰燕 早川 辰燕 早川 辰燕

あんま 陽堂療院

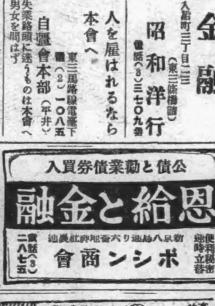
大学院 温



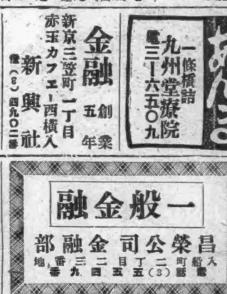








本會へ





● さいべりや丸(月三回) 毎・六ノロ出帆 毎・六ノロ出帆 毎・六ノロ出帆

等屬荷扱所

汽船一割引、通用期

# 年前十一時設 世日、卅日



鹽滿日館 東五條通二五 家族的優遇 4

多少に拘らず御用命下さ 轉任、轉宅の 宿料低廉 運送 學家民政部前 法

成白く舞れてゐたのが、枯 に動って行った。その時思 だした一須が、短い際をまさ だした一須が、短い際をまさ ちらしながら前のめりに走つ てあとを追った。解をうみを

一寸ばかりにのびてるた芽は、上の方の柔らかい部分をは、上の方の柔らかい部分を いたかで、山学の枯蔓をひつ しないで、山学の枯蔓をひつ はつたりドングリの質をくは へて定りまはつたりしてゐる ボーイが仰せをうけ庭幣を かりまはして追立てて來た。

が は かっと と かっと と から から も 伏せて ある 植木鉢を らから も 伏せて ある 植木鉢を と からなど あはてて 能舎の

販賣元

友田合資會社

#### 大衆文藝の 日本的自覺

ならば、かふる心理構寫は日 をであると思ふ、言ふ迄もなく、それは日本人を、日本の心を取り返さうとする現代の自管傾向に逆行せんとするものであるからだ。大衆文藝におけるからも数がいる思傾向はその作れが評判のいいものほど、多 ■ものではなくて、日本人を ものではなくて、日本人を ものではなくて、日本人を りいか。その心理構寫が はないが、その心理構寫が

一つの現れとして、自然な競しかない。大衆文藝は大衆文を取らればなら収理由は一つ

交際上の

本側風(十二月號) 今度から嶺村不來氏が編輯 する事になつた由、滁州の 多を題材にした同人諮氏の 作が並んでゐる 作が並んでゐる

るめ飲てし心安が酒 する所が多いと言はれ 人は……すべからく評判の

化する作用がありますから 等がもたらす、悪酔、二日 審物を吸養して體外へ排出は消毒其種胃腸内の毒素。 **呼、下痢を防ぐばかりか、** し、同時に胃腸の粘膜を強 白薬の長でありませり。 酒、ピール、 ウヰスキー

奇生蟲卵檢查無料

治療

國都家畜醫院

する位です。 なども、却つて食然は増進

麺冷鮮朝

大經路民政部前

福岡屋

電話金三七四八番四屋質店





り、アル中に移されたりする恐れがした



酒

好きで飲む

酒は豊富な榮養素を



あるのではないか。 は復興すべきの時に はでいい時代に目をお

と 学学文 語 は よのは

700

世日



番言品兒三話面

无罪 他 小型

大 探 見 電 施

**丹别府市館水園**雜產 岩里天然堂

扱サラタ 1

油



田 世帶道具 0 加

長春醫院

院長 徳 丸スガ

電(3)六二四一番

新京神社/スグ前

陶器店



(報) ・ 満銭大速岡書館、五 ・ 報) 馬市の屯そちこと 時本しめるひょきに発さ山 高市の屯そちこち息白し 馬市の屯そちこち息白し 馬市の屯そちこち息白し 馬市の屯そちこち息白し 大郎氏の「ルモスコール 寛太郎氏の「ルモスコール を手に入れた喜び」にはい かにも愛書家の締れた喜び」にはい かにも変書家の締れた喜い

酢福泉や酒のみたがる鬼を叱る●なれせぬ娘は遠慮がち瞬間風一世なれせぬ娘は遠慮がち瞬間風

初句帳ふせて炭つぐ火体かな無邪躍をして満州語の難智かな

酒を飲む機會の多い近代



たかび選の薬眠いし正

を 秀なる眼科楽の選出、常用 現代人相互の重要な資格でなく ことは、衛生思想に目覚めたる ことは、衛生思想に目覚めたる ことは、衛生思想に目覚めたる てはなりません。

スマイルは斯蒙な現代生活の で、處方極めて適確、製剤行生活の で、處方極めて適確、製剤行生活の で、處方極めて適確、製剤行生活の を保持し、常に強力、避難を見る等の を保持し、常に強力、迅速な 中村・仁藤町博士の神推奏 を勝ち得て居る處です。師ち

現代人は、然ながら、場別な 一大線の刺戟、摩埃、煤煙、 交通煩瑣な街頭の歩行、空氣の 汚染せる場所に於ける長時間の 一大線の刺戟、摩埃、煤煙、 で通煩瑣な街頭の歩行、空氣の で無が、讀書勉強等により で気がある。 で気がある。 で気がある。 で気がある。 で気がある。 で気がある。 で気がある。 で気がある。 でいる。 でい。 でいる。 でい には解剖學上、脳の一部と見れてはありません。 は解剖學上、脳の一部と見れてはありません。 は解剖學上、脳の一部と見れてはありません。 は解剖學上、脳の一部と見れてはありません。

本郷はその適確なる殺菌・消火人のきな高級眼科楽です。

二十五錢、四十五錢

調く長れ嵌か戦隊の事仕(目れかつ)

は態狀なん類 ぬら起に對絶

たり、夫権物の混入する様な画は優勢にありて行られてみますから、保存挑戦等によりひて行られてみますから、保存挑戦等によりなでもあるますから、保存挑戦等によりなるが要性してかる。 現存機 ( ) では、 ) には、 ) には、

との登明さん

を表現を述の他の第一等目も・目れは 配と確な適用にも直ばせ點をルイマス

スと漢情の服も病眼性染情な増熱のこ も際の思慮。される防御で用帯のルイマ すまめ早を修治くし書で法方此

出がシャに展黒(目みずか、日しほ) 一時のらなてくし乾・み間が張・来 すまし快機に遊ばせ點をルイマス

版大·京東社會名合置玉 店理代總

のすましりキッハも頭も取ぜせ點をル

でん構れ機が視眼や愉慢(目れださ) 概を根据ルイマス一一時な快優不く簡 eすまし復慨くし美く快ばけ舞

すまりなと快奏も分類し復回を力調し

MRELロゴロゴが中の目(目りやは) ルイマスー時るれ違か表や加速が開から

容器に對する

科學的な用意

。すまし復恢く快で限點の回動日一

たれにシュートがとて とではメケートがあま ではメケートがあま では、メケートがあま では、アートがあま では、アートがあま

將來性

はなな

一新京體育聯盟、本社主催

東大戦のため退場) 森田 大川君明日の早大對抗 職には一つよいとこ見せて 下さい 高山 大川君明日の早大對抗 就職はきまりましたか 赤振 いや、もう大學からも 計振 いや、もう大學からも 計振り凧の盛況で、領一人 に觸八人と言ふ具合さ(映 笑)

上田本社代表、山田、中島、伊藤、三記と田本社代表、山田、南島、伊藤、西村(以上ホッケー選手)大川、林、田村(以以上ホッケー選手)大川、林、田村(以上ホッケー選手)大川、林、田村(以上ホッケー選手)大川、林、田村(以上・ボッケー選手)大川、林、田村(以上・ボッケー選手)大川、林、田村(以上・ボッケー選手)大川、林、田村(以上・ボッケース)、「東京教諭、前田(主著)

寒、 三批

冬快~的に

スを練習

しな

10

3

教大學と練習試合して負ったのは大いに好参考であったのは大いに好参考であったのは大いに好参考であった。とははない、いくら足とスケートに自信があってもあらゆるペスに追ひつくことは到底不可能です。 (中島、山住、藤原三教論早大戦のおめ退場) 早大戦のおり退場) 早大戦のため退場とこ見せて下さい。

赤塚 氷になれてるるのは何と言つても満洲ですからねても新京に持つてこなけれても新京に持つてこなけれても新京に持つてこなければならないと思ひますなが「現して母人の野薬が「現して母人の大多なかったが「現して母人の大多なからないと思ひますない。 変しい日に廻り合ふ事は出来なかのたがも知れないない。

では なると言ふ事は必要だ とると言ふ事は必要だ とると言ふ事は必要だ とると言ふ事は必要だ

五分間の休養で披野は完全 も、外國にても何かそこに も、外國にても何かそこに たとへ四種目やつても四、 たとへ四種目やつても四、 たとへ四種目やつても四、

迎歐口

番のパ四二三年

ですね智

のために身體に無理

以

優勝して嬉しいです。 かか、試合の事に限ら 中島 變つ かが、試合の事に限ら 中島 變つ

だ島も

火)

大逮捕に大震となつてゐるが の會社商店の看板類の登離段 本としてあり、収締當局は犯

眞鍮看板から水道量水器まで

市内各所に被害頻々

射大名號番高稜綾楣九太五旭橋兩桂大笠鏡清男 水八寄ノ神 淵 濯 水女 川州岩里山登川若甲山若島川川國川湖山岩川川 同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

小切手紛失廣告

てゐるのを滿鹹事務局水道係今度は一兩日前から水道の量

一袋見大騒ぎを演じてゐる、

同出品人、出品物に對し割引用から五月十三日まで泉都別府で開催される。同市主催國府で開催される。同市主催國

品證孫付のもの、割引方法は同博覽會發行

地方警察學校で

務には取扱ひ不

を を を を でたちで京園線方面に の一回も後 の一回も後

田武夫君會度し

●(Ⅲ)||I||||(OO

縣酒內井町出身

麻雀戦技の指針贈呈

フロン・農産品成長のご前

現職者講習

大阪商船の割引

間別率、出品物及び出品 人工割別準、出品物及び出品 り三月二十四日より六月十五日 まで、銀門別間搬入二月一日よ まで、銀門方法は可見をで、搬出

時から日浦軍人會館で行はれた 國婦白菊分會結成

成式は二十五日午前十

一十五日午前十一時頃特別市留守中に盗まる 中に盗まる

ムなつた

#### るり 全滿主要都市 が井なり の小賣物價調 查

#### 理論的 根據兹にあり 要望あらんか

れを昇騰率の高いものから順

に見て行く

電火燃料類 二九・八% となつてゐて總物價指數では 深葉地食料品類 二八・六% 一一・九%の騰貴である、ま 遊業英類 二〇・七% た昭和九年の平均物價を基準 海底類及び肉類 二・三% わたつて た昭和九年の平均物價を基準 海流類 二・三% わたつて

• 九%の昇騰である。

更生

情か

けら

n

滿洲調查機關聯合會

記帳指導講習會

新京で

は二月四日から開催

四ヶ所に於て奉

が家以下主要都市に於ける小 変物債調査の結果が發表され た、それは七つの類別、六十 たの品目について調査したも のであるが、前月に比して悉

は七・一%の勝貴となつてる。なは一年前の昭和十年十 一月に比較してもこれまた全 品類にわたつての高騰であつ

二月九日から七日迄 月二十五日から二 月三十日から一月

首都警察廳の調査數字 では早速八方に手配犯人厳操して領警署に国け出た、同署をは早速八方に手配犯人職権

一途を辿つて「地郵政権の移譲を目換に整へ」「東京大相撲」
る奥地開設に「移民の大増値計畫遂行、附屬「東京大相撲」

東京大相撲

方も姓名卒業回數動將屬所等支部事務所迄御通知下さから萬曜御線合の上御出席願ひますから御田際願へなるから萬曜御線合の上御出席願ひます左記の通り新年懇親會を開催致します

長崎高商卒業生に謹告

新京茨城縣人會事務所

千秋樂勝負

一、日時

性が〈管理局會議で協議

中である も時代色

東京

方相 撲春

洲國郵便集配 日系指導員配置

察署を大改修 上来も完了。 去 に充分験裕を持つ右校舎を利さしめることに 充實に努めてゐる問題では更 法権撤脱を登へて警察機能の

旬文教部に關係者會し右原案

を夢見て漂然來滿したが就職能本縣上益城郡綱田村田浦正 大に競見され芸術を報 途についた

一代に第し盗み

しれずとの新京署の職情で

和

洋樂器修理

太

大

丸

紫器 店

く警察単校移轉後に引移るこ 狭隘を告げてゐた保安科は近 學校放送實施

近く關係者

間で協議

・ 中のところ、この程漸く草 ・ 地關係機關に痛感され、文教 ・ 地關係機關に痛感され、文教 ・ 本述がに新京放送局に於てこ ・ れが具體的實施方法に關し考 ・ のところ、この程漸く草 

上候教に付御繰合御出席成被下度御案内申をの通り定期總會及新年懇親會開催可定の通り定期總會及新年懇親會開催可

の面石石山 切製定折查

新鑛業法に

一 依轉

Service Services クダモノは

新鮮安價の 福果寓

追而御手散乍ら出欠左記へ御通知顧史商名簿作成上必追而御手散乍ら出欠左記へ御通知ありたと住所氏名職栗左記へ御通知ありたと

TO TO

合場 骨 野時

佐賀縣人會員諸賢に告ぐ今般左記に依り定期總會を兼ね怨親守ので萬障御繰合せ御出席下さい御郷土の物語りでも致し度いと思ひまげ久方振りに葉隱れ氣分を發揮してが見いた葉陰れ氣分を發揮して来內致します

一、骨費 金四圓 (は食に飲て支牌) 一、時日 二十九日午後五時 (時間順行) 一、時日 二十九日午後五時 (時間順行)

長崎高商瓊林會新京支部

佐賀縣人會事務所

萬全のサービス 斯界の王座 明朗なる無分近代的装備

人和麻雀俱樂部 電話(四)六三六三 新京東二條通元二條機概

機木部

雀

左配の小切手粉失仕り無効に付此段廣告仕り候を を 行 所 國道局新京建設所設行八三一八五號 全 額 國際被三年十二月廿八日 發行日付 康德三年十二月廿八日 發行日付 康德三年十二月廿九日 發行日付 康德三年十二月廿九日

**聯盟選手権大倉毎月第三土曜日** 

首都唯一の自動車技術 御来校の上設備並に指導方法の本期入學者特典あり 新學期二月一日(毎月)日

家族的優遇す詳細は面談の上家族的優遇す詳細は面談の上

才

語 言語会說

かったりったり

走るのと運つてスケー いかね

をみるとスケー を動大川君の氣

五時四〇分分 五時四〇分分

文字書くそ

■ ・ 三 へ 三 ツ

頻發思

者。

咳

主

効

一六七

ふざけた異似を十

るといはおかわ

「どうも様子が燃だと思ったい

こちらは脳八の味のお脳、野田 こちらは脳八の味のお脳、野田 になつても来だ来ません、一般ら しあげる端だから……配し野沙人

ぞありやおれの命掛けの仕事だ

4

魔:

(業上 海県

燕

二演

し、舟を仰聴かにおいて建へ上り でかけると、定成も何能かにおいて建へ上り でいまへば容易に女の酸し先が分と思ったが2巻へなほして、数し を形は無人を一肢は叩き切らう 素で、触は能人より細にいい、味る、だいは機像を推んでは眺る差 したがそれを持つて行く事もでき ら月を放しません、さあ無八・頭 した是から定位夜は熊八の栗駒かり思つたから其壁熊八の筆をでま 極し先に出かけるに根理ない、頻らない、生かしておけば野郎女の 一番腕者にでる版で舟を乗りだ 「しつこい野朋だ勝手に しろ 15

談があるよ 「オヤな長小低さんかい 「なあに話なんぞありはしない とはいって来のは一ク受験の種 『お餌さんゐだね、姿お難に棚 「お前のところも全さんがチッ 三選人つてもよいだらうか、例 配らない様だし、お客様はあ

いて出かすことは、間は一致を配

マ全国各無店におり

本舗 醫 藤井得三郎商店

資電器 (87) 京省東京九一番

東京市韓田區最島町

れれが関し先をさがし出すぞう 合ふものでない。今日の内に配 いふ即にあつたのは生れで極めてまった会はくるのです。最う新ら 作へ人をやりさへすれば、直に歴 の配してゐるところへ 一関節の事はいつても今の間に 幸うございます」 れで始めて

観光が



「ようし、今の一管わすれるな」 「サアはも心脈してゐます、心

たと思って預かったがで三日も四 たといふからパート戦か一日の報 日も検索を察おいて女の様ばかり からゐなくなったといふにそれが 「暗が限したりなんでするもの 一部間を太く出やアがつた。

た 「お説さん何うしたものだらうか 兄の来ぬのはお金の都合が出きないに述ひないが、お献さんは先継いに述ひないが、お献さんは先継にあるた事なお米。 のでうじして一時は金ひ過ごし たが栄養せん、髪も困つた

金の実質が出来ないから来ないの だらう、出来さべずれば来るだら 何志だから際しがよい と思ってある。六日七日とほっ

龍角散の全身的治療

何はへ終した。何能へやつた」



用なく●胃臓を害する心配更になし

●香味爽快にて服真く●絶對に耐作

でありますから腕炎、腕蕨炎、臓綿绞響への数器を米然に防止す脱して、たんせきせんそくを治療されたがは、籐労画観が登敷筋脈炎への愛症防止作用 これが質め顧解散を賦

ることももなるのであります。

肺炎への變症防止作用 これがいめ間酸酸を酸酸のキルモン脈が凝射が除されてある路で、肝域で一般的くからある唯一最強がの競響がなのです。

映養名優シユヴァリエの

嗳

ルモン適用剤

日本最古のホ



質 和洋服堀出物 ラクダ布團幹約販賣

京東二條通 妊産婦の 産婦賞費御預り 川尻雪三三五 電業公司



**诗** 克 新京ダイヤ街老祭町一大朝日銀 三一五七〇九号 科院長 肥 後 弘 子

産科婦人科增設 松井鶴

客室 百(内五十屋 便所 風呂付 宿泊料二側以上 実 曾一人前 二間五十銭以上









初心者歡迎

他に其の比を見ず

計交グンス個人教授所

アオキダンスアカデミ

電 話 金 貸 電腦系 ン六二六七巻

0

酒保用品 | 中豐富 卸 開用命の様伏して順上鈴

在

東一條通り入船町角 絃 政商 器 店

雞業法二 責任出願 正規變圖並出願手續 ₩ ₹ 土方龜次郎

OROMONOMONOMONOMONA

外性皮

病鹛